

メディア掲載情報

媒体名	鉄鋼新聞
掲載号	
掲載日	2016年6月16日
掲載内容	木部工場 塗装ライン新設

カツデンアーキテック

埼玉の塗装ライン増強

長にも対応 手すり、室内用階段の需要捕捉

室内用スチール階段メーカーのカツデンアーキテック（社長・坂田清茂氏）は、塗装ラインを増強する。ベランダ手すりや関連商品を製造する木部工場（埼玉県美里町）に専用設備を導入。戸建て住宅向けを主体に室内階段を生産する団地工場（同）で外注していた長尺品の塗装を内製に切り替えて品質と納期対応力を高めるとともに、伸長するスチール製の手すりや室内階段の需要を捕捉する。

木部工場では、従来の主力でハウスメーカー向けに供給するアルミ製に加え、昨今ニーズが高まるスチール製の手すりや派生する商品と同一拠点で生産可能な供給体制の構築に着手。全社的な二次加工の強化にもらんだ取り組みの一環で、新設した塗装ラインは近く稼動に入る。塗装の処理能力は、木部と団地の両工場を合わせて従来の2倍を超える水準に上がる。

木部工場では、従来の主力でハウスメーカー向けに供給するアルミ製に加え、昨今ニーズが高まるスチール製の手すりや派生する商品と同一拠点で生産可能な供給体制の構築に着手。全社的な二次加工の強化にもらんだ取り組みの一環で、新設した塗装ラインは近く稼動に入る。塗装の処理能力は、木部と団地の両工場を合わせて従来の2倍を超える水準に上がる。



全社の処理能力は従来の2倍を超える。構内の一

（開口寸法は幅6.5m×高さ2.5m×奥行3.1m）角には乾燥炉の排熱を利用して建屋に高さを2倍×奥行3.1m×奥行3.1mを脱脂とリン酸鉄皮膜化（4層）をはじめ、溶剤不要になった排水を蒸成の処理を手掛けるワット粉体をそれぞれ塗装。発処理する装置も備えンバッチ式洗浄装置する専用アース、加熱する。で溶剤や粉体の塗料を焼き付ける乾燥炉を1基ずつ据え付けた。いずれも現地法人が運営し、昨年夏に開業したベトナムの工場の設備と同じ最新の仕様となっている。

木部工場では、従来の主力でハウスメーカー向けに供給するアルミ製に加え、昨今ニーズが高まるスチール製の手すりや派生する商品と同一拠点で生産可能な供給体制の構築に着手。全社的な二次加工の強化にもらんだ取り組みの一環で、新設した塗装ラインは近く稼動に入る。塗装の処理能力は、木部と団地の両工場を合わせて従来の2倍を超える水準に上がる。

本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

